



生活のルールづくり

【本要素と市街地類型の関係】

	業務・商業地	住宅地
新規開発地	○	○
既存市街地	○	○

凡例 ○:該当、△:該当する場合あり

【組織・活動の範囲・領域性】

○ : 地域・組織の領域
● : 活動の領域

組織の構成員の範囲、活動の範囲ともに明確で、それが一致する。

- ・ 住民等が地域内で快適に生活していくために、生活ルールを定め、それを運用していくこと。
- ・ ゴミの出し方、道路やゴミステーションの清掃、ペットの飼い方、門灯の点灯等、地域の住民等が一定のルールの中で自らの役割を果たしながら地域に関わっていくことが有効。

■具体的な活動

- ・ ゴミ出しやペットの飼い方等に関するルールの策定

■手法・組織のあり方

- ・ 自治会・町内会、商店街振興組合等の地縁をベースとした組織、まちづくり協議会等の協議組織、建築協定運営委員会、団地管理組合等、活動エリアが明確であり、地域の住民等が一定以上の割合で参画する組織であれば、生活ルールの策定は可能。
- ・ 生活を管理するための法定計画等はないので、ルールは任意協定とするか、組織の会則・規約等の中に位置づけること。

■活動のポイント

- ・ 公平性の担保

■行政との連携

- ・ 門灯の点灯等について、地方公共団体が地域内での合意形成に向けたアドバイザーの派遣等の支援制度を用意しているところもあり、これらの制度を活用していくことで、ルールの共有化を効果的に図ることが可能。

エリアマネジメントの要素へ戻る